

事務事業名	水道事業会計管理事務	事務事業No.	50602000604	所属課	水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
企業会計発足当初から、岩瀬・大和・真壁で別々に各伝票を作成していたが、債権者等のデータを統一し、伝票作成の減少になった。 また、水道事業会計は、3月31日付けで決算するため、予算との関連で複雑であったため、システムを導入した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
水道使用者の増加と、支払件数の増加により伝票への入力及び伝票の発行枚数が多くなっている。また、平成元年度からの消費税導入により複雑化した。 水道事業会計システムの導入により、手書き伝票は無くなりデータ管理となっている。 複式簿記の導入により現金の動きが分かりづらいという意見を受けている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 水道事業を運営する上で不可欠な事務であり、基本事業の上水道の安定経営に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 水道事業は市で運営しているため、必要不可欠な事務である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 収入及び支出とも取引件数である。収支の整合性を確認するためには幅広い知識が必要であり、職員の異動が免れないため成果向上は難しいと思われる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止することにより事業運営ができなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 桜川市と筑西市と結城市で水道料金等徴収業務委託を連携できる可能性がある。	
⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 少ない人数(2名)で行っている。削減は、困難である。国や県からの要求に応えるには高い技能と豊富な知識が必要のため、2名では引継ぎがままならない。人員増加を希望する。	
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 料金改定に組み込まれ、適正な受益者負担となっている。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業運営上、必要不可欠な事務事業である。 少ない人員で事務執行しているところだが、下水道課と組織統合し、会計も同じ法適用事業となることから、お互いに事務事業を理解し合うことが必要である。 会計コンサルタントに委託したことにより会計管理事務の修正を図った。																												
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																												
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	向上				維持			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下	向上																												
	維持																												
会計管理を行う上で今までより多くの知識が要求されている。 また、国や県から経営戦略の見直しや事業広域化の検討など重要かつ緊急の案件が続いている。そのため、職員が対応できるように水道課での勤務年数、研修参加の増加、直面している問題に対する委託業務の増加が予測される。 令和4年度までに事業広域化プランを建てて実行していくため業務係職員が付き切りになる可能性がある。現在2名で管理しているため日常業務への対応が難しくなる。令和5年度より人員の増加を検討を希望する。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ⑧																												

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>